

第 678 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

テレビ番組

BSN NEWS ゆうなびスペシャル

「金が生きる島」

放送日時

2022 年 5 月 28 日 (土)

16:00~16:54 放送

令和 4 年 6 月 30 日

BSN新潟放送

第 678 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 4 年 6 月 30 日 (木) 午前 11:00~

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 6F 会議室

3. 委員の出席

○委員側出席者 (敬称略・順不同)

委員長	古賀 豊	副委員長	佐藤 元
委員	渡邊 信子	委員	広川 和義
委員	石坂 智恵美	委員	佐野 哲郎
委員	大橋 未来子		

○審議番組事前レポート提出者

委員	三井田 由香	委員	馬場 幸夫
----	--------	----	-------

○放送事業者側出席者

社長	佐藤 隆夫	専務取締役	島田 好久
メディア本部長	五十嵐 幹史	編成局長	井上 智美
情報センター長	小湊 潤		

<説明員> 情報センター 報道部 山口 牧 恵

事務局 金山 英功 (編成局テレビ編成部部長)

4. 議題

1 報告事項 令和 4 年 7 月の番組について (各担当)

2 審議事項 テレビ番組

BSN NEWS ゆうなびスペシャル「金が生きる島」

(放送日時: 2022 年 5 月 28 日 (土) 16:00~16:54 放送)

5. 議事の概要

佐藤社長のあいさつの後、各担当からの 7 月度番組報告に続いて、
テレビ番組 BSN NEWS ゆうなびスペシャル「金が生きる島」
について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

- 取材がしっかりなされており、立場が異なる住民たちの金山への思い、佐渡への思いが伝わった。佐渡金銀山の価値を再認識できた。
- 相川車座、伊藤屋の取り組みは新鮮であり、熱意が伝わった。相川車座の企画が具体的にどう進んでいるのか知りたい。
今後も世界遺産登録に向け高まるであろう過程での継続的な取材を！
- 田中志津さんのコメントをもっと聞きたかった。生き字引である彼女の言葉を財産として受け継いでいかなければならない。
- 「金が生きる島」の「が」を何故使ったのか？
- 番組の方向性は素晴らしい。教育・観光施設にこの番組のダイジェスト版を置いたらどうか。
- 県民にとって佐渡は意外と遠い存在。佐渡の歴史・文化の背景をもっと知る必要がある。この番組は県民として知っておきたい内容が詰まった番組だった。
- かつて佐渡には日本の技術・文化(小判・測量技術など)が集積していた。
(北前船による)食も垣間見られたら 更に番組に深みが出たと思う。

～新潟放送 情報センター 報道部 山口牧恵より～

お忙しい中、丁寧に番組を審議していただきありがとうございました。佐渡金銀山の歴史・文化的価値や島民達の思いが伝わったようで大変嬉しく思います。制作にあたり目標に掲げたのは、番組を見た人に“佐渡金銀山に行きたい”と思わせることでした。故郷の宝として県民それぞれが発信していくためにも、多くの人が実際に見て、感じて、そして自ら求めて知るようになればと思っております。佐渡金銀山は非常に奥が深く、今回紹介できたのはほんの一部でしかありません。ご意見いただいたように、往時の活気や金山がもたらした文化など人々の暮らしにフォーカスしたもの、100年後の未来に続くまちづくりを目指す相川車座の活動、そのほか様々な視点から今後も取材を重ね、伝えていきたいと思います。

【文責・番組審議会事務局】